

<参考資料>

1 「イノベーションネットアワード（地域産業支援プログラム表彰事業）」の概要

全国イノベーション推進機関ネットワーク（※1）では、各地の地域産業支援プログラムの質的向上および取り組みの普及、およびより一層の地域産業の振興・活性化を喚起促進する目的で、地域の中小企業による新事業および新産業創出などを促進し、地域産業の振興・活性化に優れた成果を上げている「地域産業支援プログラム」を「イノベーションネットアワード」にて表彰（※2）しています。2012年から実施しており、今回で8回目の選定になります。

※1 全国イノベーション推進機関ネットワーク

2009年4月に発足した全国イノベーション推進機関ネットワークは、全国各地で地域発イノベーションの推進を担う産業支援機関や大学などが、文部科学省・経済産業省・農林水産省・関連機関の支援を受けつつ、共通認識の下で、全国的なネットワークを構築しています。

※2 表彰名

地域支援プログラム：経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、農林水産大臣賞
全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞
一般財団法人日本立地センター理事長賞
個人：全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞

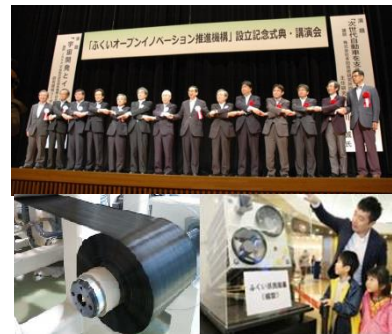
参考：<http://www.innovation-network.jp/award/>

2 「ふくいオープンイノベーション推進機構」の受賞

「ふくいオープンイノベーション推進機構」は、地域の資源や特性を活かした産業支援の取り組みのうち、特に新産業、新事業創出に成果を上げた取り組みにおいて最も優秀な取り組みであることなどが評価され「全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞」を受賞することができました。

○選定理由

地域技術を生かしたイノベーションを促進し、将来有望な事業の創出を支援するため、県内企業、大学・高専、公設試、産業支援機関、金融機関などの産学官金が一体となって研究開発から販路開拓まで支援する機構を設立。研究者と企業とのイノベーションリサーチ交流会の開催、研究人材データベースの構築、大学等の有識者で構成された企画検討会による研究課題の設定などにより革新的な研究、製品開発、事業化を推進している。特に福井県独自の炭素繊維技術（開繊技術）を県内企業に移転し、航空宇宙・自動車分野等への進出を加速している。



3 「イノベーションネットアワード2019」の表彰式・記念フォーラム

日時：平成31年2月22日（金）13：30～18：50

場所：中央大学駿河台記念館（東京都千代田区神田駿河台3丁目11-5）

プログラム（予定）：13：30～14：30 表彰式

14：40～17：00 記念フォーラム（受賞者による講演）

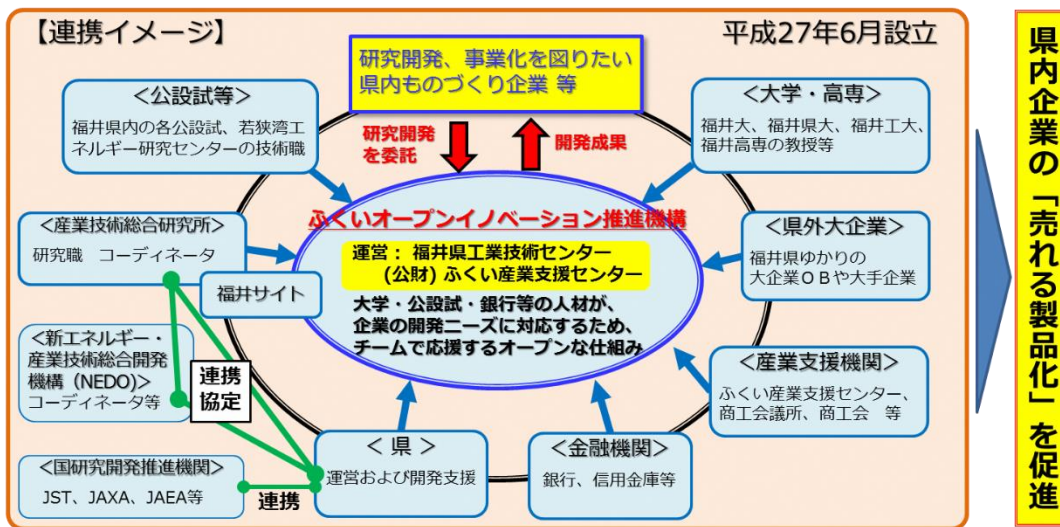
17：20～18：50 交流会

4 「ふくいオープンイノベーション推進機構」について

◆「ふくいオープンイノベーション推進機構」の概要

我が国の産業は、先端材料の開発など技術革新が著しく、企業を取り巻く状況は一層厳しさを増している。福井県においても、技術革新によるイノベーション創出の重要性が認識されるとともに、地域の枠を超えた協力によって技術的課題を解決するための連携の強化が急務となっており、これを解決するため、県内の企業、大学・高専、公設試等の研究機関に金融機関を加えた、産・学・官・金が連携し、外部人材も活用しながら課題解決にあたる開かれたネットワーク体制の構築が必要となっている。

そこで、革新的な研究および製品開発を支援するとともに事業化に向けた技術営業を支援し、福井発のイノベーションの推進を図るため、福井県内企業、大学・高専、公設試、金融機関等が一体となって、組織的に企業を応援する「ふくいオープンイノベーション推進機構」を平成27年度に設置した。



「ふくいオープンイノベーション推進機構」の連携イメージ図

◆「ふくいオープンイノベーション推進機構」の事業

産・学・官・金の連携を高め、県内企業の革新的な研究、製品開発を支援するとともに、事業化に向けた技術営業を推進しています

[ネットワークの構築]

- 大学・高専、他機関間のネットワーク構築（人材データベースの構築）
- 登録研究者・技術者の企業への派遣（企業現場・拠点における研究開発）
- 研究会やIR（イノベーションリサーチ）交流会の実施

[共同研究・受託研究]

- 共同研究や受託研究の実施（運営、進捗管理）
- 国の競争的資金や県の技術開発補助金などの獲得支援
- 大型研究プロジェクトの実施

[技術営業]

- 商談会などの出展支援
- メールマガジンなどでの情報発信
- 研究開発資金計画や事業化に向けた融資などの経営相談支援